

4号機 燃料プール内での異物確認について

平成 18 年 5 月 26 日

発生号機	4号機(定期点検中) : 沸騰水型、定格電気出力113.7万キロワット
発生年月日	平成18年5月26日
発生時の状況	5月26日、原子炉建屋4階(放射線管理区域内)において、燃料プール(※1)で保管されている原子燃料が、書類の記録と一致しているかを確認する作業(※2)を行っていたところ、同日午前6時40分、使用済燃料1463体の内、1体(※3)の上部にひも状の異物を確認しました。 現在、確認された異物の回収作業を行っています。
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありません。 また、作業者等への被ばくはありません。
原因	燃料プール周辺の作業等により燃料プールに落下したものと推定されます。
お知らせ基準	「表2-8」に該当します。

※1 燃料プールは使用済燃料や使用済制御棒等を貯蔵するための設備です。

※2 この確認作業は、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」に基づき定めた社内ルールに従い、原子燃料の实在庫量の確認を定期点検毎に実施するものです。

作業は、水中カメラを燃料上部に接近させ、燃料の識別番号を確認しています。

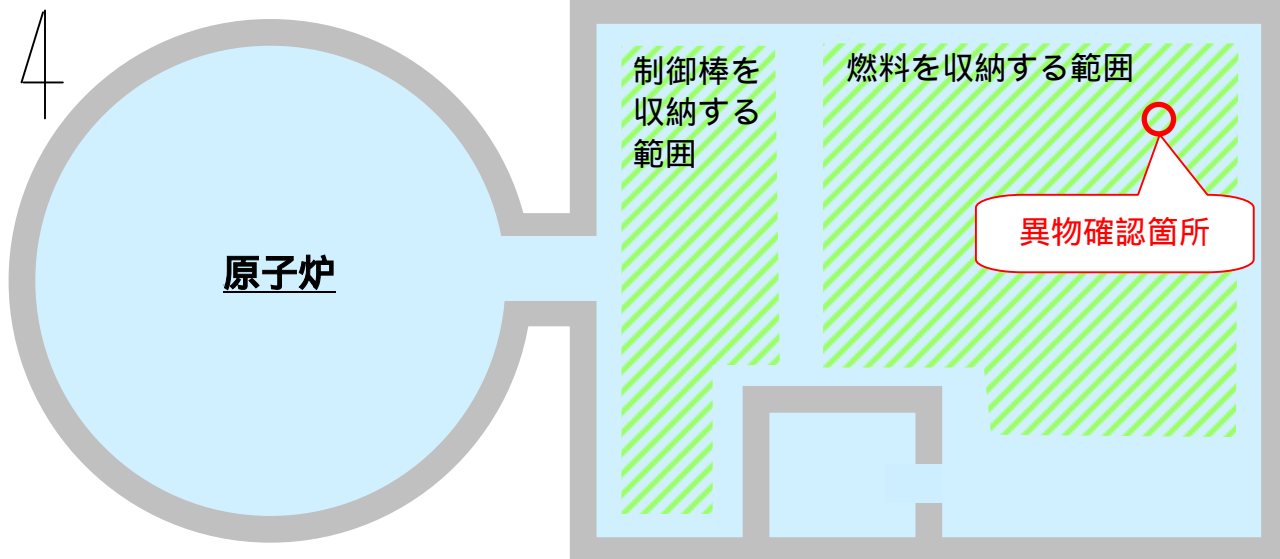
なお、前回までは、水中カメラによる接近した識別番号の確認ではなく、燃料プール上部から目視にて使用済燃料の配置を確認していたため、今回の様な異物は発見できなかった可能性があります。

※3 当該使用済燃料は、約10年前に原子炉から取り出して、現在の位置に保管されているものです。

以上

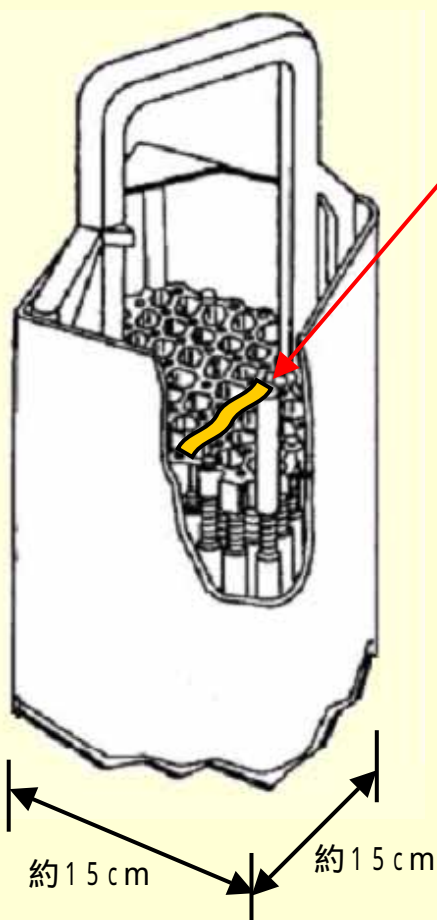
燃料プール内の配置と異物確認箇所

燃料プール

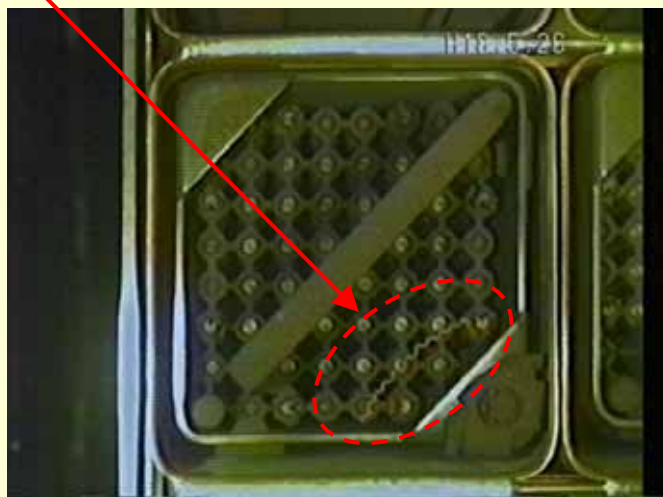


確認された異物の状況

原子燃料



異物



確認された異物

〔 ひも状の異物
長さ約50mm, 太さ約1mm 〕